



2015年新春に贈る言葉

新年、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

新年を迎え、元気が出る言葉とその言葉の背景にあった出来事を紹介したいと思います。紹介するのは、昨年もっとも活躍したアスリートに選ばれたプロテニスプレーヤー錦織圭選手の言葉と、今年の箱根駅伝に優勝した青山学院大学陸上部の藤川拓也主将の言葉です。

錦織圭：「Believe yourself」（自分を信じろ）

この言葉は、マイケル・チャンコーチから何回も言われた言葉だそうです。錦織選手は、次のように話しています。『特にトップの選手と対戦するときに、ジョコビッチと対戦するときも、前の日から、「Believe yourself」（自分を信じろ）、絶対に勝てるというのを多分1日5回ぐらい言われて。それで自分自身「そう思わないといけない」と思ったと思いますし、彼にはメンタル面でもいろんな助け、アドバイスを頂いて、それで自分が強くなってきていると思うので、テニス以外でも支えになっています。（2014.11.18. 日本記者クラブでの会見で）』

「自分を信じろ」という言葉の裏には、過酷な日々の練習がありました。その積み重ねがあるからこそ、「自分を信じろ」「絶対に勝てる」と自分を励まし続け、素晴らしい成果に結びついたのでですね。

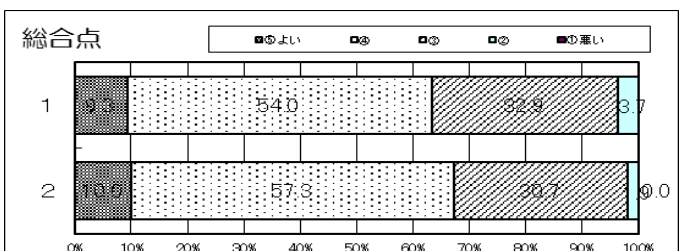
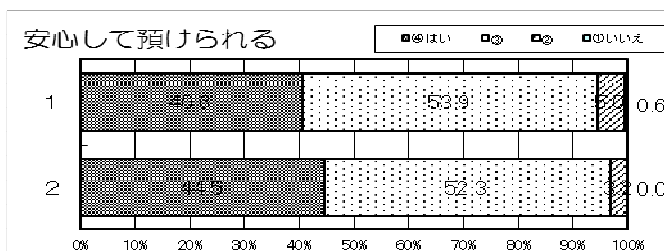
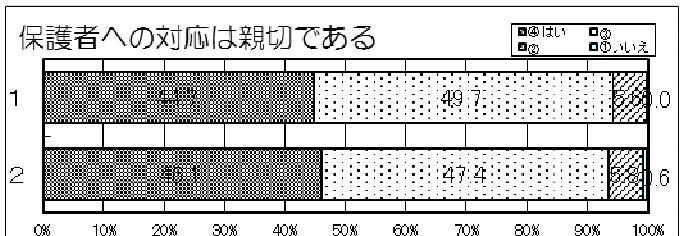
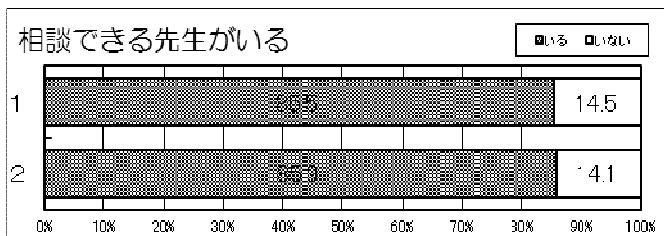
藤川拓也：「みんなが自主性を持って明るく取り組む。このチームなら強くなれると思っていた。」

初優勝したチームの主将がこう語った言葉の裏には、原晋（はらすすむ）監督のこんな思いがあったようです。『サザンオールスターズの桑田佳祐さんの出身校で、東京都渋谷区にキャンパスがある青学大には、おしゃれなイメージが強い。「青学はちゃらい」とよく周囲に言われてきたという原晋（はらすすむ）監督（47）は、「最高の褒め言葉です」と胸を張る。「宝塚音楽学校と同じ。見えないところでは泥臭く努力しても、表舞台では華やかにしていきたい」。大会前の記者会見で発表したテーマは、見る人を驚かせ楽しませたいという思いを込めて、「ワクワク大作戦」。異彩を放っていた。（朝日新聞デジタル（2015.01.03）より）』

原監督は、選手に記録会や練習、生活面などの目標を細かく書き込ませ提出させて、自分の結果を練習などの過程も含めて振り返りをさせることを徹底したそうです。選手一人ひとりが自分の目標を持ち、コツコツとそれに取り組み、結果を反省することで自主性が育っていき、藤川主将の言葉につながったのだですね。

2学期保護者評価の結果

2学期の学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。1学期と比較してほとんどの項目で肯定的な回答が増えていました。しかし、交通マナーなど、まだまだ多くの課題があると受けとめています。信頼される学校をめざして、なお一層努力してまいります。



（裏面に学校に対する意見を掲載しています。）

学校に対する意見（紙面の都合で、一部掲載）

◎1年生

- 子どもたちも先生も、生き生きと楽しんでいるように感じています。様々な取り組みを通じて成長が感じられ、とてもありがたいと思います。
- 「おにぎりの日」はまだできますが、「野菜おかずの日」は家庭科の時間に計画して取り組むのはどうでしょうか？おかずとなると早く起きてつくるので、できなければ結局親がしてしまいます。
- 自転車での交通マナーが守れていない生徒を見かけます。信号無視、一旦停止をしない、道いっぱいになって対向してきた人が通りにくい、等です。家庭でも日頃交通ルールを守るように話をしていますが、学校でもさらにご指導いただければと思います。
- 子どもたちの言葉遣いなど、生活面での指導は厳しくしてもいいと思います。家でもしつけているつもりですが、授業参観などで、先生方にタメ口で接している子どもを見ると、我が子がそうだと嫌だなあと感じます。
- 詫間中学校は良くなってきていると感じます。今後、ますます良くなると信じています。
- 授業参観の時、分かりやすく、また楽しい雰囲気での授業をしていたのが良かった。
- 先生はいろいろ努力してくれているのだと思いますが、先日の参観日の授業を見ると、ずっと横向きに座っている子がいましたが、親が来ている日にあの状態だと、平日はどんなんだろうと心配になりました。子どもも成長しいろいろ変化してきますが、環境が良いとは思えませんでした。
- 担任の先生ととても良い関係なのか、自分の気持ちを素直に言えているように感じます。これからもご指導よろしくお願いします。

◎2年生

- 家庭でも声かけはしていますが、交通マナーやルールが守れるよう働きかけをお願いしたい。
- 学校をよくしようとしている先生方のがんばりは伝わってきます。細かいところでいろいろあるようですが、概ね中学生らしく楽しく過ごせているようです。ありがとうございます。
- 職場体験学習は、下の子にも体験させたいので、今後も続けてほしい。
- 自宅近くで会う中学生たちは、きちんとあいさつができていて好感が持てます。
- 保護者と学校で、もっと密に連絡が取れるようにしたいです。（生活面での乱れ等、目についた時には連絡をしてほしい。）
- 自転車での並列運転が当たり前になっているように思いますが、すごく危険なので指導してほしい。

◎3年生

- 登校する時は、あいさつ運動などもあり、交差点では、ボランティアの方や当番、保護者の方がいて比較的安全ですが、下校時は、日暮れが早いこともあり、車のライトが反射し見にくくなり事故が起きやすいです。
- 授業参観などで、先生に対して敬語を使わない子が多くいるように思います。もし我が子がそのような言葉遣いをしていたら、身近な大人として、もっと厳しく指導してもらいたいと思います。※家では、「先生に対してちゃんと話すことは当たり前」と言っていますが・・・。
- 11月の浦島デーの授業ははじめがなかった。
- 先生方のご指導に感謝しています。
- 各部活で結果が出、全体的によくなったなあと感じます。あいさつや交通ルールは、家庭のしつけからとも思います。たいへんと思うが、少しでも良い方向に向けられるようにと思います。
- 親よりも学校の生活で先生方と接する時間が多い子どもたち。親の行き届いていない教育を、たくさん補って下さり感謝しています。